

令和元年度 第4回向日市社会教育委員の会議要旨	
日 時	令和2年2月6日(木) 午後2時～3時30分
場 所	向日市役所 第7会議室
出席委員	永井委員、高畑委員、植田委員、安田委員、横田委員、梅田委員、中本委員、築山委員、吉岡委員
欠席委員	河村委員、平野委員、竹林委員
事 務 局	小賀野教育部長、玉城副部長兼文化資料館長、鹿島生涯学習課長、田中中央公民館長、芦田図書館長、物部天文館長、渡辺文化財調査事務所長
内 容	議題1 令和元年度社会教育関係事業報告書について 議題2 令和2年度社会教育関係団体等への補助金(予算案)について 議題3 令和2年度社会教育指導の重点(案)について 議題4 向日市スポーツ推進計画の策定について 議題5 その他
教育部長	○開会挨拶
委員	○挨拶
委員	○議題1 令和元年度社会教育関係事業報告書について ー生涯学習課、中央公民館、図書館、文化資料館、天文館、文化財調査事務所事業について順次説明ー  <質 疑> 【生涯学習課事業について】 地域学校協働活動推進事業の参加人数が多数となっているのはどういうことか。子どもの人数も含むので多数ということなのか。
生涯学習課長	そのとおりで人数の集計は不可能である。
委員	「学校や地域の方々と連携・協働し、子どもたちが安心して暮らせる環境づくり」とあるが、この文の主語がわかりづらい。「学校と地域の方々が連携・協働し」ではないか。また、子どもの学びや成長を支える、とあるので目的のようなところも違うのではないか。
生涯学習課長	国の文章が毎年変わってきていて、少しずつ変えている。昔は地域で支える学校教育推進事業となっており、学校の求めに応じて地域の方々が進めていくというものだった。現在は双方向になり、連携という言葉になっている。主語は学校、地域、社会教育、と全部

	<p>だと思う。最近では家庭も入ってきている。実務上はコーディネーターであったりサポーターであるが、多種多様であるので一言では言い表せない。</p>
委員	<p>ここでいう地域は保護者やPTAなどの一般の団体などを指していると思う。最初にこの文を読んだ時に言葉としての主語がわかりづらかったので、そこはどうか。</p>
生涯学習課長	<p>国の文章を見ながらどういう言い方がいいのか考える。</p>
委員	<p>文科省は子どもの学びや成長を支える、と書いており、学びが重点なのではないかと思う。安心して暮らせる環境づくりはもちろんだと思うが、国の文章を確認してほしい。</p> <p>地域学校協働本部の6向小の委員数が他と比べて多いが、どういう体制なのか。</p>
生涯学習課長	<p>6向小は過渡期にあり、現役の声を知りたい、引退したいという声があることと、土のめぐみさんが活動していただいております、連携するために委員として入っていただいている。いろいろな事情があるため人数が多い。</p>
委員	<p>留守家庭児童会は現在何箇所あるのか。</p>
生涯学習課長	<p>留守家庭児童会6箇所、民間で1箇所の計7箇所ある。</p>
委員	<p>加配指導員というのはどのような指導員なのか。</p>
生涯学習課長	<p>週3～4で入っていただいているシフトのアルバイトの方である。特別な配慮が必要な子どもを見てもらうこともある。</p>
委員	<p>有資格者は指導員、嘱託指導員なのか。</p>
生涯学習課長	<p>指導員、嘱託指導員は有資格者で、加配指導員は問うていないが、保育士や教員の資格を持っている方はいる。</p>
委員	<p>指導員数は充足されているのか。</p>
生涯学習課長	<p>1クラス2名配置しなければならないが、現在30人なので足りていない。ただ、補助員であれば良いとなっているので、法令違反ではない。数字だけで見ると、あと2人採用したい。</p>
委員	<p>広報で放課後児童支援員と補助員の募集が出ていた。補助員でも難しい応募資格だと思った。</p>
生涯学習課長	<p>補助員は2年経験後に指導員になれるという制度があるので少しハードルが下がっている。</p>
委員	<p>放課後児童サポート事業だが、今年度の第3回で5向小を見学したが、課題が多いと思った。地域の人たちが学校の中でできないことをしていく必要があるのではないか。今の</p>

	<p>5向の実態としては、1・2年生が5時間目にシルバーに安全を守ってもらいながら、自由遊びをしている。はらぺこあおむしさんの読み聞かせもあるが、地域の人たちが、子どもたちと何か学べるようなものがあるといいと思う。学校は目的をわかっているのか、という疑問もある。毎年やっていることでそのまま進んでいるように感じる。</p>
生涯学習課長	<p>内容的には、5向と同じ事業を実施している市町村もある。各学校で、2向は放課後学習、3向は地域学校と連携して「ほのぼの」、6向は放課後学習を実施している。運営委員会で先生方に毎年お伝えしている。移行しても良いことや安全上の配慮、保護者の理解を得ていただくことをお話ししている。時期を見て変えていければと思っているが、土壌がなければなかなかできない。6向小は地域学校協働で高学年の放課後学習をしている実績があったので、1・2年生でも実施することができた。自由遊びだけずっと実施するものではない。</p>
委員	<p>成人式のことだが、いろんな服装をした子どもたちがいるけども、落ち着いていると思った。入りきれない新成人が第2会場にいたが、本会場にいた来賓が第2部の前に会場を移動する際、入れ替えで入ることはできなかったのか。</p>
生涯学習課長	<p>来賓の方々にはシネマの席ではなく、前に設けた椅子に反対側で座っているので、画面を見ることは難しい。去年は本会場にいたい、と階段に座っていた子もいたが、今年は雰囲気違っておとなしい子たちだった。1会場で収まれば良かったが、収まる人数ではなかった。</p>
委員	<p>勘違いかもしれないが、広報むこうの2ページ目の華やかな恰好をした子たちの顔が載っているところがぼやけているような気がする。</p>
生涯学習課長	<p>動いた瞬間で、ピントがずれてしまったからだと思われる。</p>
委員	<p>式が始まる前に、携帯マナーなどの案内のタイミングで、白いショールを取る、座り方、振袖の袖を膝の上に、などマナーについてお知らせできないか。</p>
生涯学習課長	<p>エチケットについて伝えるのは難しい。</p>
委員	<p>スポーツ指導者研修会は、生涯学習課とスポーツ文化協会が連携してBリーグ チェアマンを招いて実施、とあるが、なぜ京都タワーホテルで行われたのか。</p>
生涯学習課長	<p>講演後に自費となるが、情報交換会がある。人数が多いということもある。</p>
委員	<p>図書館の自習室の開設だが、計画案の時は定員21名だったが、参加が41名とある。部屋に入りきれたのか。</p>
図書館長	<p>開催期間中の延べ人数になる。1日多くて5人ぐらいであった。</p>
委員	<p>ビブリオバトルの実施日が第2回からとなっているが、第1回はあったのか。</p>
図書館長	<p>第1回は昨年度実施した。年度をまたいでカウントしている。</p>

委員	おはなし会「だいじょうぶだよ～認知症ってなあに？～」の参加対象はだれになるのか。
図書館長	参加対象は特に指定しておらず、乳幼児でも保護者でもご高齢の方でも構わない。
委員	実際にどういった方が参加されたのか。
図書館長	通常実施しているおはなしひろばの参加者で、乳幼児と保護者の方たちが多かった。
委員	天文館の計画に落語をするとあったが、どうなったのか。
天文館長	計画では実施するとしていたが、調整がつかなかった。
委員	図書館の見学が延べ6回とあるが、小学生、幼稚園児の内訳を知りたい。
図書館長	幼稚園児は向陽幼稚園が、3クラスに分けて時間差で来館された。館内を案内し、後日、先生が代表で借りに来てくださる。恒例化しており、何年も来ていただいている。小学生は学校カリキュラム中の施設見学で、だいたい小学校2年生の3クラス又は4クラスで70～100人に書庫やブックポストなど館内をくまなく20分ほど見学いただいた後、本を借りて帰っていただいている。
委員	小学校によっては見学している学校もあれば、していない学校もあるということか。
図書館長	そういうことである。
委員	本の活字離れが言われている時代で、本の借り方を知らない子どもたちもご家庭の状況によってあると思う。幼稚園か学校で1回はみんな図書館に行って図書館の楽しさなどを知る機会があれば図書館離れを防げると思う。学校に宣伝してもらってみんな1回は足を運んでもらうのはどうか。
図書館長	年度初めに学校貸出の案内は送っている。先生の考え方によって毎年1校見学ができない学校があるが、その他は来ていただいている。学校見学で全員カードを作ってくれるのでありがたい。
委員	資料館の来館は市内の方が多いのか。
文化資料館長	来館者は半分以上が市内の方である。市外では京都市、西京区、右京の里や洛西ニュータウンの方が多い。
委員	リュックサックを背負って歩いておられる方に資料館の場所を聞かれたことがある。
文化資料館長	大阪では高齢者大学のようなものが盛んで、シニアのグループが歩いて来られることがある。初めて向日市に来た方から、資料館の場所が分からないという声をよく聞く。
委員	ボランティアは全員市民なのか。

文化資料館長	ほとんどが向日市の方である。制限はないので、長岡京市や右京の里、洛西ニュータウンの方もいる。
委員	天文館の団体投影の参加人数が、7割が市外とのことだが、年間を通して団体数はどれぐらいになるのか。
天文館長	現在、86 団体で、市内が 22 団体である。
委員	7割が市外というのがうれしいような、うれしくないようなという感じである。
天文館長	天文館だけではなく、向日神社にお参りに来られるなど、観光的に一翼を担っている。
委員	文化資料館の歴史ウォークだが、桜のシーズンにスポーツ推進員主催のポールウォーキングと合併してできたらいいと思っている。集客するのが大変で、ボランティアの方の歴史の説明も併せて受けられる行事であればよいと思っている。
文化資料館長	ボランティア依頼があれば即ご相談できる。ボランティアのガイド班があり、依頼があれば、随時行っているので、ぜひご連絡いただきたい。来年の事業計画として、マップの改訂作業をしようと思っており、それも兼ねて対応したい。
委員	図書館、公民館は市民中心になるが、資料館、天文館は市内だけでなく、市外にも広報されていると思う。市外はどの辺りまでちらし等を配布しているのか。
文化資料館長	資料館の場合は、全部の催しを市外施設へ送っているわけではない。市外に関しては、長岡京市と大山崎町の図書館、公民館、記念文化会館、学校などに送っている。特に大きなイベントの時は、地域の歴史に興味がある方が多いので、大阪や兵庫などの同じような施設や、鉄道沿線の市町の図書館にも送っている。
天文館長	投影用のポスターを全国各地の各天文施設に送っている。HPにも掲載しているので、今年度に投影したプラネタリアンについては日本全国、ニューヨークからもお越しいたごき、非常に喜んでいただいている。
	○議題2 令和2年度社会教育関係団体等への補助金（予算案）について
生涯学習課長	一 小中学校PTA、青少年健全育成関係団体、子ども会、スポーツ関係団体への補助金交付について説明一
	<質 疑>
委員	少年スポーツ団体事業補助金はなぜ減っているのか。
生涯学習課長	団体が減ってきているので、実態に合わせ、減らしている。

委員	団体が減るとするのは、子どもが減っているからか。
生涯学習課長	指導者について、小・中学生 11 人以上で組織して定期的な活動を行うのは大変なことであると思う。
委員	そういった理由で減ってきているということか。
生涯学習課長	そうである。
委員	スポーツ団体の条件は厳しいのか。
生涯学習課長	小・中学生 11 人以上で定期的に活動する点が難しいと思う。
	○議題 3 令和 2 年度社会教育の重点（案）について
生涯学習課長	－「社会教育指導の重点」（案）について説明－
	<質疑なし>
	○議題 4 向日市スポーツ推進計画の策定について
生涯学習課長	－向日市スポーツ推進計画の策定について説明－
	<質疑>
委員	内容じゃないが、挿絵が書いてあるのが良いと思う。
委員	性別を聞く理由があるのか。
生涯学習課長	傾向的なものがあるかもしれない。検討にはなったが、行政のアンケートでは聞いている。
教育部長	今回、他市の状況も見ながら検討した結果、上位計画である、ふるさと創生計画のアンケートを踏襲させていただいた。
委員	他市や全体の状況というよりもこちらが必要としている情報かどうか、という視点で精査する考え方もあると思う。
教育部長	住所地は必要ないかもしれないが、年代や雇用形態は参考になると思う。
委員	地域によって盛んなところがあるかもしれない。
教育部長	大きい市町村だと体育施設の近隣は盛んだったりする。向日市の場合は市域が狭いので

委員	<p>あまり差がないかもしれない。</p> <p>地域によって、ラジオ体操をするなど、前向きな地域もある。狭い市域だからこそ地域差があるかもしれない。全く参考にならない項目はないと思う。</p> <p>○議題5 その他事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・乙訓社会教育委員等連絡協議会研修会について</li> </ul>
委員	<p>1年を振り返って感じていることを申し上げたい。委員会の日程調整や連絡、地域学校協働活動のボランティアからもお知らせが遅いということを知っている。職員体制がどうなっているのか伺いたい。</p>
生涯学習課長	<p>地域学校協働活動は、平成21年度に1校目が始まり、1年に1校に近いペースで設置されてきた。年間20回程度の本部会議があり、学校との連絡調整、約30人のコーディネーターとの打ち合わせ、100人以上の謝金の支払い等がある。また留守家庭児童会の児童数も当時の400人が今は600人、指導員が14人から32人となり、それに関する業務量が増大している。一方で、職員数が21年度の6人と人数が変わっていない。さらに、4月から育児休業が1人、10月から病気休業が1人という状況であり、大変ご不便をおかけして申し訳ない。</p>
委員	<p>指導の重点には、ボランティア活動を推進する機運の醸成とある。上手くまわっていないことで不信感や不満がでるのは、ボランティア活動の推進にマイナスとなる。市民と一緒に活動していこう、ということなのでよろしくお願いしたい。</p> <p>&lt;閉会&gt;</p>